

令和元年度 船員災害疾病発生状況【疾病編】①

今週と来週は、疾病発生状況について紹介します。  
※数値は速報値です。

▽疾病発生人数(死亡者数)

船種	令和元年度	平成30年度
外内航船	250人(4人)	248人(3人)
漁船	181人(9人)	194人(6人)
※その他	115人(3人)	104人(1人)
合計	546人(16人)	546人(10人)

(※官公庁署所属船および起重機船などの作業船)

疾病発生状況は前年度と同数、死亡者は前年度より6人増加しました。

▽発生人数の多い疾病(対前年度比)

- 「筋骨格系」……………93人・17%(21人増)
  - ・椎間板障害(椎間板ヘルニアなど)……………21人・23%
  - ・その他の筋骨格系(アキレス腱炎など)……………18人・19%
  - ・脊椎障害……………15人・16%
- 「感染症」……………92人・17%(23人増)
  - ・その他の感染症(インフルエンザなど)……………59人・64%
  - ・腸感染症……………20人・22%
  - ・皮膚ウイルス疾患  
(帯状疱疹ⅡほうしんⅡなど)……………9人・10%
- 「消化器系」……………76人・14%(6人減)
  - ・その他の消化器系(急性虫垂炎など)……………43人・57%
  - ・胃・腸炎……………13人・17%
  - ・潰瘍……………8人・11%
- 「循環器系」……………69人・13%(4人減)
  - ・虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞など)……………16人・23%
  - ・脳梗塞……………14人・20%
  - ・その他の心疾患(うっ血性心不全など)……………11人・16%
- 「新生物」……………53人・10%(23人増)
  - ・悪性新生物(前立腺がんなど)……………17人・32%
  - ・腸の悪性新生物……………9人・17%
  - ・気管・肺の悪性新生物……………8人・15%

順位に変動はありましたが、1位から4位までを占める発生人数の多い疾病は、前年度と同じでした。5位は前年度の呼吸器系から新生物になりました。

▽年齢階層別疾病発生状況(前年度)

- 「60歳以上」……………159人・29%(146人・27%)
- 「55歳～59歳」……………77人・14%(101人・18%)
- 「50歳～54歳」……………58人・11%(59人・11%)
- 「30歳～34歳」……………56人・10%(47人・9%)
- 「45歳～49歳」……………44人・8%(43人・8%)

年齢階層別では、前年度と同じく高年齢者船員(50歳以上)が全体の半数以上(54%)を占めています。

〔ファクスだより〕

2021年2月5日(金曜日)